

コレクション展 小説『舞姫』をよんでみよう！**2025 年 7 月 4 日（金）～9 月 30 日（火）開催のお知らせ**

**森鷗外の手書き文字で名作『舞姫』全編を味わおう！
細かな推敲の跡が残る、草稿複製 全 28 枚を一挙展示します。**

文京区立森鷗外記念館では 2025 年 7 月 4 日（金）から 9 月 30 日（火）まで、コレクション展「小説『舞姫』をよんでみよう！」を開催いたします。

森鷗外は小説『舞姫』を 1890（明治 23）年 1 月に雑誌「国民之友」に発表しました。それまで論文や外国文学の翻訳等を主に執筆してきた鷗外が発表した創作小説の第一作目です。この作品は、1957（昭和 32）年以降、高等学校国語科の教科書に取り上げられてきたことから、森鷗外という作家を『舞姫』という作品とともに記憶している人も多いことでしょう。

小説『舞姫』は、ドイツから船で帰国途中の青年・太田豊太郎による回想という形をとります。官僚として派遣されたベルリンで出会ったエリスとの恋、自分の学問や将来などを巡る葛藤や悩みとともに、帰国に至ったいきさつが描かれます。

本展では、鷗外生前に『舞姫』が掲載された雑誌や書籍のほか、創作の背景にあった鷗外自身のドイツ留学や当時の反響などに関連する館蔵資料を展示します。

そして、「国民之友」で発表される直前の 1889（明治 22）年末に執筆した自筆草稿（複製）全 28 枚を展示します。草稿には随所に推敲の跡が残っており、その手跡からは発表直前まで文章を練り続けた鷗外の姿が垣間見えます。複製だからこそ実現できる草稿の一挙展示です。名作『舞姫』全編を手書き文字でよみ、鷗外が吟味を重ねた言葉を味わってください。

■開催概要

展覧会名：コレクション展「小説『舞姫』をよんでみよう！」

会 期：2025 年 7 月 4 日（金）～9 月 30 日（火） 計 83 日間

休 館 日：7 月 22 日（火）・23 日（水）、8 月 25 日（月）・26 日（火）、9 月 24 日（水）・25 日（木）

開館時間：10 時～18 時（最終入館は閉館 30 分前まで）

※ 7 月 9 日（水）は 9 時より開館、8 月 2 日（土）は 20 時閉館

会 場：文京区立森鷗外記念館 展示室 2

観 覧 料：一般 300 円（20 名以上の団体：240 円）

※ 中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者 1 名まで無料

※ 8 月 2 日（土）は区民無料観覧日（文京区在住・在勤・在学者対象、要身分証明書）

主 催：文京区立森鷗外記念館



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

報道関係のお問い合わせ

文京区立森鷗外記念館 広報担当：東聡子
〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4
☎ 03-3824-5511 FAX：03-3824-0123
mail：bmk-koho@moriogai-kinenkan.jp

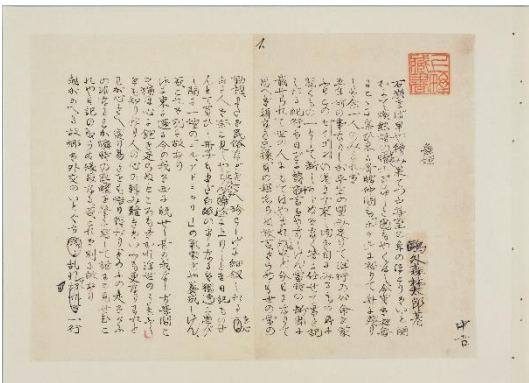
★鷗外自筆草稿『舞姫』について



半紙（和紙）、罫線なし、毛筆、全 28 枚

自筆草稿は、鷗外から徳富蘇峰（「国民之友」主筆）に渡し、後年に古書店によって冊子状に仕立てられた。いくつかの所蔵者を経て、2015（平成 27）年より跡見学園女子大学の所蔵となった。資料保護と研究活用の観点から、冊子状を解体して台紙を付けて見開きにし、原寸大のカラー複製【左図版】が制作された。現在よまれている『舞姫』と比べると、語句の異同や現在は削除された箇所を見ることができる。

■主な展示資料



『森鷗外自筆 舞姫草稿』（複製） 跡見学園女子大学刊
原寸大の複製。原資料の加除訂正が確認できる。



ベルリンにて 1888（明治 21）年撮影
鷗外 26 歳。ドイツ留学中に撮影されたもの。



【左】「国民之友」69 号 1890（明治 23）年 1 月 『舞姫』の初出誌。新作小説を紹介する「藻塩草」欄に「鷗外森林太郎著」の署名で掲載された。【中】鷗外『美奈和集』春陽堂 1892（明治 25）年 鷗外にとって初めての作品集。『舞姫』などドイツを舞台とした小説三部作、翻訳小説、共訳詩集『於母影』を収録。【右】鷗外『塵泥』千章館 1915（大正 4）年 『舞姫』ほか全 4 作の小説を収録。鷗外は『舞姫』を書籍に収録のたびに推敲を重ねたが、現在よまれている『舞姫』は本書が底本となっている。

■ミニ展示ガイド発売

展示解説、資料キャプションなどを収録したミニ展示ガイドを、開幕日 7 月 4 日（金）より館内ショップにて販売します。通信販売にも対応しています。

B5 判・12 頁 価格：税込 300 円 発行日：2025 年 7 月 4 日（金）

■関連事業

○講演会「明治 20 年代の青年太田豊太郎―作品『舞姫』が問いかけてくるもの―」

講師：須田 喜代次 氏（大妻女子大学名誉教授、森鷗外記念会会長）

日時：2025 年 8 月 30 日（土）14 時～15 時 30 分

料金：無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）

○朗読体験ワークショップ「『舞姫』を朗読する」（全 2 回）

朗読：内木 明子 氏（朗読家、早稲田大学・相模女子大学非常勤講師）

日時：2025 年 9 月 7 日（日）、14 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

料金：3,500 円（2 回分）

※講演会、ワークショップはいずれも事前申込制。申込方法等詳細は、当館 HP などでお知らせします。

○ギャラリートーク

コレクション展ギャラリートーク

日時：7 月 30 日（水）、9 月 3 日（水）14 時～（30 分程度）

子ども向けギャラリートーク

ワークシートを手に、当館学芸員と共に鷗外の生涯（常設展示）をめぐります。

日時：8 月 3 日（日）13 時～（30 分程度） 対象：小学校 4 年生から

※ギャラリートークはいずれも申込不要、高校生以上は展示観覧券が必要です。

■同時期開催

○鷗外忌記念展示

7 月 9 日（水）の鷗外命日（鷗外忌）にちなみ、常設コーナーにて鷗外「遺言書」の原資料を展示します。

また、鷗外忌当日は 9 時から開館し、展示を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼントします。

「遺言書」展示期間：7 月 4 日（金）～31 日（木）の開館日

※コレクション展「小説『舞姫』をよんでみよう！」と併せて観覧頂けます。

森鷗外とは

1862（文久 2）～1922（大正 11）年。陸軍軍医、小説家、翻訳家、医学博士。本名・^{りんたろう}森林太郎。

現在の島根県鹿足郡津和野町に、津和野藩主・亀井家の典医を代々務めた森家の長男として生まれる。1872

（明治 5）年に 10 歳で上京。東京大学医学部を卒業後、陸軍軍医となる。1884（明治 17）年、ドイツ留学。

帰国後の 1889（明治 22）年に共訳詩集『^{おもかげ}於母影』を、翌年に小説『舞姫』を発表し文壇で名声を高めた。

1907（明治 40）年、陸軍軍医總監、陸軍省医務局長に就任。公務の傍ら、『青年』『雁』『山椒大夫』『高瀬舟』

『渋江抽斎』などを執筆した。